

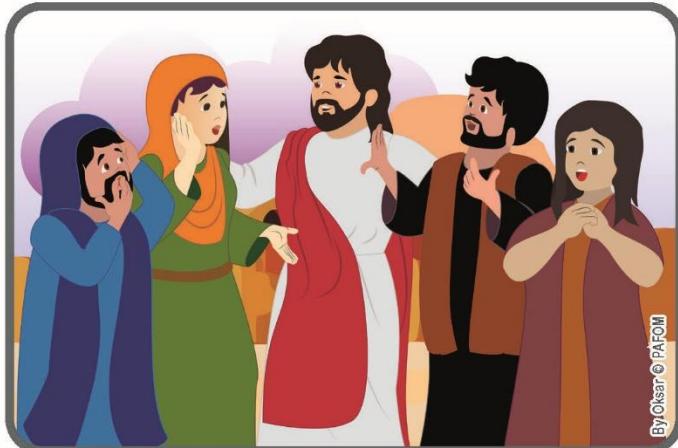


たすけあいながらやりなおすこと



フォコラーレ
focolare.org/japan

きょうだいのためにあるおがくずはみえるのに、なぜじぶんのめのなかにあるまるたにきがつかないのか。(ルカ 6・41).



たくさんのがいがイエスについてきます。おはなしをききたいからです。でもときどきわからぬことをおはなしえれます。きょうはなにもきたいせずに、てきをあいすることをはなしています。

イエスははなします。「さばいてはなりません。ゆるしなさい。」たくさんのがいが、できないといいます。「わたしとはかんけいない。」「きょうだいのめのなかのおがくず、そしてじぶんのめのなかのまるた」とイエスさまはいわれます。

イエスさまは、いわれます。「きょうだいのけってんはみえてもじぶんのものはきがつかない。」さばかぬいようごとすけてください。いつもやりなおして、まちがったひとをおかあさんのあいであいしましよう。



ぼくはサッカーのともだちがいる。あるひまちがつてかれのあしをきづつけた。かれはとってもおこって、あやまったのにぼくとはなさなくなつた。

かれがぼくをゆるしてくれなかつたので、かなしくておこつてしまつた。でもてきをあいしなさいということばをおもいだした! ぼくはちいさないのおこないをきづかれないようにつづけてやつた。

あるひ、げんかんのべるがなつて、このともだちがきてまたいつしょにサッカーをはじめようといつてきた。うれしかつた。それからぼくたちはまたきょうだいのようにおいしあうよになつたよ。
(コレゴのピエール)